

県高校駅伝トラックで実施の場合の監督・選手注意事項

1. 規則について

本大会は、2019 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場について

主競技場の競走路は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則 143 条を厳守されたい。

3. 練習について

競技場外での練習をする場合は安全面に十分注意する。

4. 招集について

① 招集場所は100mスタート地点後方に設ける。

② 招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、つぎのとおりとする。

招集開始時刻	招集完了時刻
50分前	20分前

③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものと処理する。

④ 招集所では、招集時間内にチェックを受け、ナンバーカードとユニフォームの点検も受ける。その際に写真判定用の腰ナンバー標識とトランスポンダー用腰ナンバー標識を受け取る。

5. ナンバーカードについて

① ナンバーカードは監督会議で配布したものを使用し胸と背につけること。

② 写真判定用の腰ナンバー標識はランニングパンツ右側後方に、トランスポンダー用腰ナンバー標識はランニングパンツ左側後方につける。

③ 写真判定用の腰ナンバー標識とトランスポンダー用腰ナンバー標識はゴール後速やかに係に返却する。

6. 競技の組・レーン順について

① トラック競技の組はタイムテーブルを参照。

② レーン順はナンバーカード順とする。(2組実施されるレースは学校のエントリータイム順に組み分けを行う。)

7. 写真判定・電気計時等について

① 競技においては写真判定を採用する(1/100 秒まで計測)。

② 周回チェックはトランスポンダーを使用する。

8. 競技方法について

① 各レースは1/100 秒まで計測して合計し順位を決める。合計タイムは 1/10 秒の位を切り上げる。

② 合計タイムが同タイムの時は、1/1000 秒まで読み順位を決める。1/1000 秒まで同タイムの時は、当該校同士の各選手の順位を比較して優劣をつける。

9. 入賞及び表彰について

① 入賞は8位までとする。

② 8位までに入賞の学校は閉会式に参加すること。

10. 抗議・上訴について

競技規則 146 条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長への抗議を口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が 上訴申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。(抗議は正式アナウンス後、上訴は審判長の裁定確認後 30 分以内。)

11. 欠場について

やむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに招集所競技者係に申し出ること。

12. その他

① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。

② プログラムに誤記がある場合には、速やかに本部に申し出ること。

③ 参加各校の補助員(1名)は、競技開始1 時間前に本部に集合のこと。

④ シート・テント・横断幕を張る場所は競技場のルールに従うこと。管理事務所前の雨天走路の占有は厳禁のぼり等は禁止とする。

⑤ 大会中は競技マナーを守り、貴重品の管理にも留意すること。(※競技場で盗難が頻発している。)

⑥ 優勝校は12月22日(日)京都での全国大会に、6位までの入賞校は11月16日(土)神奈川県で行われる関東大会に出場できる。

⑦ 競技終了後は、速やかに競技場より退場すること。各校のミーティング等は競技場の外で行うこと。

⑧ ゴミは持ち帰りを原則とする。

⑨ タスキの着用は認める。

⑩ スパイクの使用は可とする。

⑪ 記録は管理事務所前の雨天走路に掲示する。